

# 水害時の消毒法

(公社)新潟県薬剤師会 (2015年9月改訂)

消毒対象	消毒薬	調製方法	使用方法
屋外 (し尿槽や下水があふれた場所、動物の死骸や腐敗物が漂着した場所、氾濫した汚水が付着した壁面、乾燥しにくい床下)	クレゾール石けん	クレゾール石けん液 30ml に水を加えて1リットルとする。液が濁って沈殿物が生じた場合には上澄み液を使用する	家屋の周りは、じょうろや噴霧器などで濡れる程度に散布する。 壁面は、泥などの汚れを水で落としてから、消毒液をひたした布などでよく拭く。または噴霧器で噴霧する場合は、濡れる程度に噴霧する。
	オルソ剤 <sup>注1</sup>	オルソ剤 20ml に水を加えて1リットルとする	
	消石灰	浸水した床下・家の周囲等に、消石灰を表面が白く覆われる程度(300g/m <sup>3</sup> )の量、散布する。散布した石灰が飛散しないよう、ジョウロ等で軽く水をまいて、表面の消石灰を固める。消石灰は強アルカリ性なので皮膚や粘膜につかないように注意！生石灰は水との接触で発熱するので注意。	
屋内 (汚水に浸かった壁面や床、家財道具)	逆性石けん (オスバン 等)	塩化ベンザルコニウムまたは塩化ベンゼトニウムとして0.1%の濃度になるように希釈する。(10%製品の場合、本剤10mlに水を加え1リットルとする)いろいろな濃度のものが市販されているので、希釈倍率に注意。	泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、希釈液に浸した布などでよく拭く。又は噴霧器で噴霧する場合は、濡れる程度に噴霧する。その後は風通しをよくしそのまま乾燥させる。
手指 (後片づけなどで、汚染された箇所や土に触れた手指)			汚れを石けんで洗った後、流水で石けんを落とし、洗面器などに入れた消毒液に手首まで浸し、30秒以上もみ洗いをする。その後、乾いたタオルなどでよく拭き取る。石けんが残っていると殺菌力が低下するので、よく洗い流すこと。
食器類	次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン、ハイター 等)	次亜塩素酸ナトリウムの濃度が0.02%になるように希釈する。(10%製品を使用する場合は、本剤2mlに水を加えて1リットルとする。)  残留塩素として1~2ppmの濃度になるように調整する。(10%製品を使用する場合は、水1リットルにつき1滴を加える。)	食器を水洗いした後、消毒液に5分以上浸し、その上で自然乾燥させる。  界面活性剤等が入っている次亜塩素酸ナトリウム剤は飲料用には用いないこと。また、食器に使用した場合、すすぎが必要です。
井戸水			汚染された井戸水は水質検査で飲用可能になるまで飲まないほうが良いが、やむを得ず使用する場合は、煮沸してから用いる。また、消毒薬を使用する場合は、くみ取った水に1~2ppm濃度になるよう調整した次亜塩素酸ナトリウム液を入れ、30分以上放置してから飲用する。

## <注意事項>

- \* 取り扱う際には長袖、長ズボンを着用し、メガネ、マスク、ゴム手袋などを使用し皮膚や目にかからないように注意すること。
- \* 皮膚についた場合には大量の水と石けんで良く洗い流す。目に入った場合は、水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けること。
- \* 液体は、使用する直前に希釈し、希釈する濃度を守ること。
- \* 他の消毒薬や洗剤などと混合しないこと。
- \* 他の容器に移して保管しないこと。
- \* 浄化微生物に影響を及ぼすので、浄化槽には散布しないこと。

注1：新潟県内で市販されているオルソ剤には、スパールオルソS（明治）、明治ゾール77（クレゾール入り：明治）などがあります。